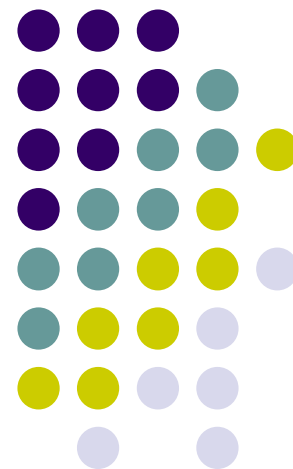
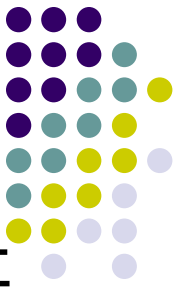


# 2022年度高崎経済大学リレー講義 銀行業界の現状とSDGs

2022年 7月 6日  
西村康裕

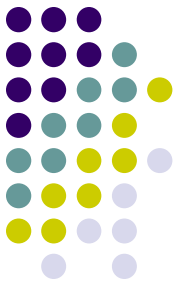


# 講師紹介



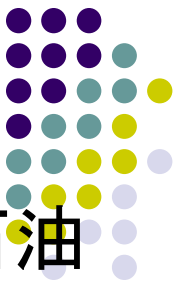
- 1977年 京都大学卒、三和銀行(現三菱UFJ銀行)入社
- 1980年 外務省出向
- 1985年 三和総合研究所出向(主任研究員)
- 1990年 三和銀行ロンドン支店(M&A担当など)
- 1994年 事業開発部(大阪&東京次長)
- 1997年 上石神井、池袋、町田、上野(支店長と支社長)
- 2007年 山田コンサルティング株式会社(営業部長)
- 2010年 日本振興銀行(再生請負担当常務)
- 2012年 イオン銀行(法人審査部長など)
- 2014年 DDホールディングス(常勤監査役 現任)
- 2014年 西村康裕事務所 代表(現任)

# 目次



1. はじめに
2. 日本経済50年と銀行の変遷
  - (1) 2大ショックとバブル経済
  - (2) 1997年という年～金融危機と銀行変革
3. 銀行の基本的役割  
～貸出と事業再生について
4. SDGs対応について
  - (1) デジタル化の推進～決済ビジネスの高度化
  - (2) 金融犯罪防止

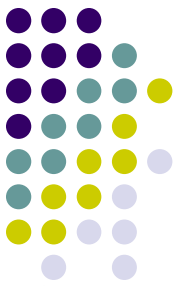
# 1, はじめに



- 戦後日本経済は順調に成長したが、1973年の石油ショックと1985年の円高ショックで景気悪化と失業が深刻化した。この対策として政府は大規模な財政投融資と金融緩和を断行し、一定克服したがバブル経済に陥った。
- この結果1990年代後半に日本の金融に歪が生じ1997年に崩壊した。これを機に銀行業界は大規模な再編が生じビジネスの仕組みも大きく変わった。
- SDGs対応として銀行業界(全銀協)は8つの課題を開示し毎年進捗報告している。今回は①決済と②金融犯罪について解説したい。

## 2、日本経済50年と銀行の変遷

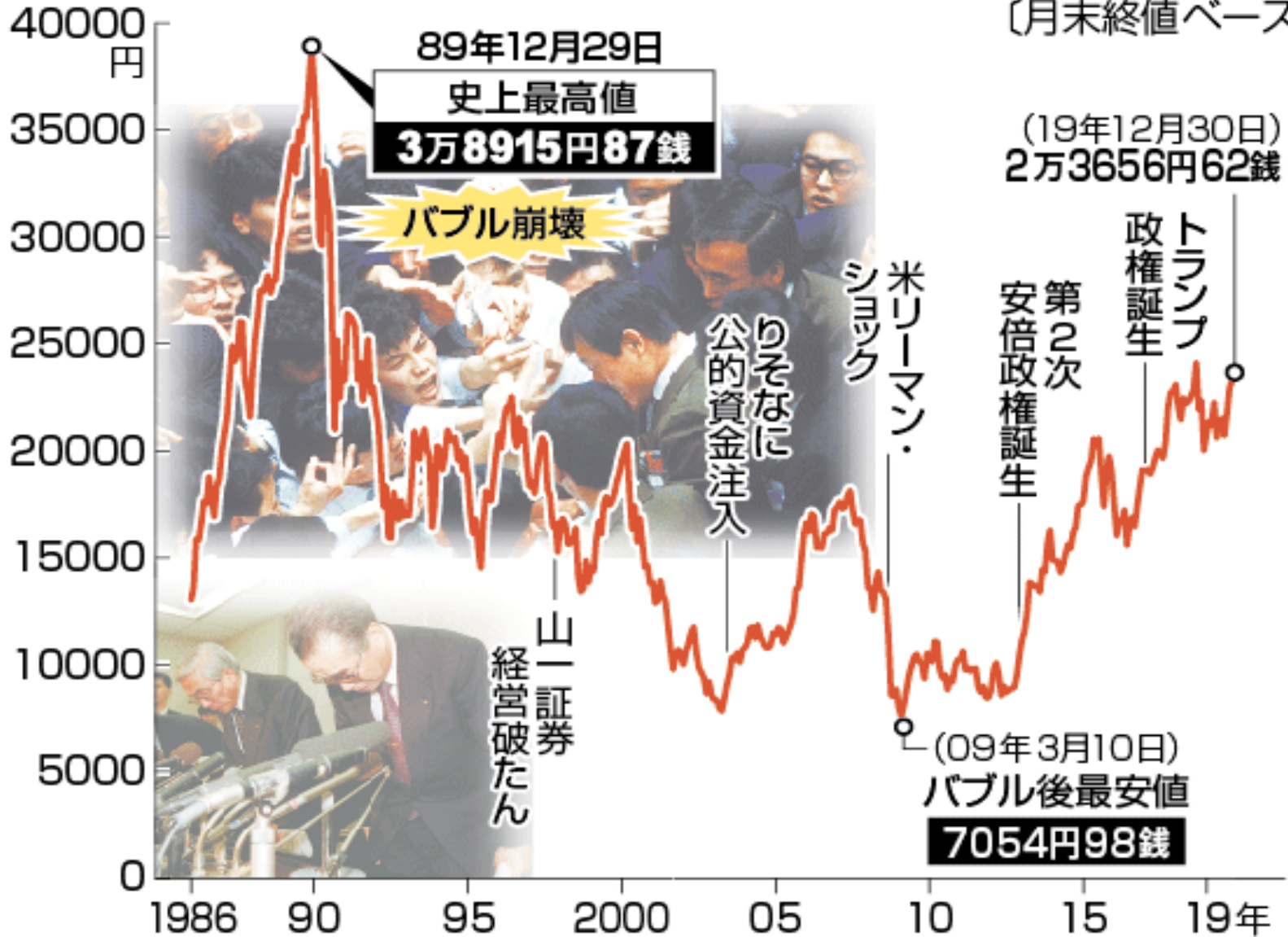
### (1) 2大ショックとバブル経済



1. 石油ショック; 1973年 / 1978年の中東 ➡ 物価高騰
2. 円高ショック: 1985年日米円ドル会議 (プラザ合意で250円/\$ から150円に急騰) ➡ 輸出減少 ➡ 失業 ➡ 大規模財政と金融緩和 ➡ **不動産価格暴騰** ➡ **1989年末の日経平均株価は38,915円の史上最高値**
3. 1990年頃ロンドンの金融市場は邦銀が30%のシェア。三菱地所は**マンハッタンビル**を買収。カリフォルニアの有名ゴルフ場やロンドンの主要なビルも日本資本に買収された。**ユーロトンネル**建設PJに日本の銀行は多額の資金を貸した。

# 過去30年の日経平均株価の推移

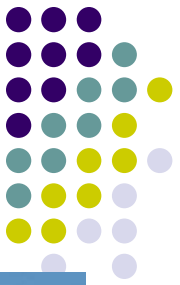
〔月末終値ベース〕



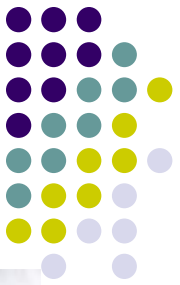
(写真はAFP時事)



# NY ロックフェラーセンター

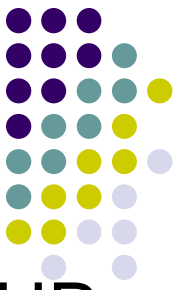


# ロンドンウオーターフロントのビル群



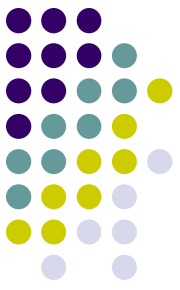


# 金融引き締めと不祥事発生 (1990～1996)



1. 日銀(三重野総裁)の決断→短期金利**8.25%**へUP
2. **大蔵省銀行局の貸出総量規制**  
不動産業者のみ規制。住宅専門会社と商社は規制外
3. 1990年～金融スキャンダル事件多発
  - ① **住銀・イトマン**事件(1990)
  - ② **尾上縫**事件、証券会社の「損失補填」と反社取引(1991)
  - ③ 不可解な銀行関係者の自殺と暗殺など多発(1994)
  - ④ **大和銀行NY**事件(1996監査役に損害賠償請求の判決)

➡池井戸潤らの企業小説の題材



## (2) 1997年という年

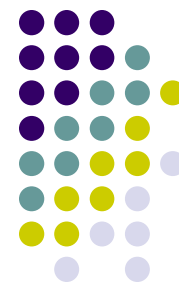
# 金融危機と銀行の変革

- 1、10月初旬のS銀行の定例支店長会  
例年通りの昨対純増の目標指示
- 2、12月初旬の臨時支店長会  
貸出総量の抑制方針→期末残高減少  
(BIS規制により自己資本比率8%がネック)
- 3、倒産大量発生へ  
銀行と法人取引先とのトラブル多発  
「貸し剥がし・貸し渋り」激増。  
1998年には長銀・日債銀の倒産へ

# 「金融動乱 金融庁長官の独白」 五味廣文著から



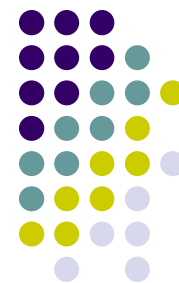
1990年代後半の金融不安は後から振り返ると、**必然的にもたらされたものだった**。1980年代のバブル経済の生成から崩壊の過程において、**日本経済のありとあらゆるリスクが銀行のバランスシート(貸借対照表)に詰め込まれていた**からだ。そうした状態でバブル経済が崩壊すると、当然銀行のバランスシートも激しく傷むことになる。経済の中核である銀行がいきなりその機能を停止すると、日本経済全体に影響は瞬時に及んでいく。**1997年は、戦後の日本経済が必然的に抱えることとなったリスクが初めて現実になった年だった**。(序章 金融激動の十年から引用)



# 1995年以前の大手銀行(参考)

- 都銀13行
  - 第一勸業銀行
  - 住友銀行
  - 富士銀行
  - 三菱銀行 \* (1996.4.1)
  - 三和銀行
  - 東海銀行
  - 三井銀行
  - 太陽神戸銀行
  - 東京銀行 \*
  - 大和銀行
  - 協和銀行
  - 埼玉銀行
  - 北海道拓殖銀行
- 長銀3行
  - 日本興業銀行
  - 日本長期信用銀行
  - 日本債権信用銀行
- 信託銀行
  - 三菱信託銀行
  - 住友信託銀行
  - 三井信託銀行
  - 安田信託銀行
  - 東洋信託銀行
  - 中央信託銀行

# 2022年の現状



## ●メガ銀行グループ

### 1. MUFG

- 三菱UFJ銀行
- 三菱UFJ信託銀行
- 三菱UFJモルガンスタンレー証券 など

### 2. みずほ

- みずほ銀行
- みずほ証券など

### 3. SMBC

- 三井住友銀行
- 三井住友信託銀行
- SMBC日興証券など

### ● りそな

- 埼玉りそな銀行
- 近畿大阪銀行

### ● ゆうちょ銀行

### ● 農林中央金庫など

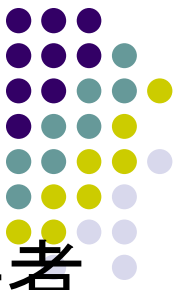
## <地方銀行>

第1地方銀行（64行）

第2地方銀行（40行）

信用金庫（200余）





# \* 銀行は被害者か加害者か？

金融市場は安定を取り戻したが、企業再生支援者としての信頼は失墜した。銀行の経済成長支援者という期待は消えた。➡日本経済の長期低迷

## <参考>

- 中坊公平 整理回収機構 初代社長の発言

「銀行は質屋。人を見ず質草だけを見てお金を貸している」(1996～2000)

- 梶山静六 橋本内閣官房長官の発言

「銀行と大蔵省はA級戦犯で加害者だ」

(1996～1997/9)

# 3、銀行の基本的役割

①預金②貸出③送金④デリバティブ

## <貸出の機能>

経営悪化した企業の症状

1) 利益減少 赤字拡大

2) 資金繰り悪化

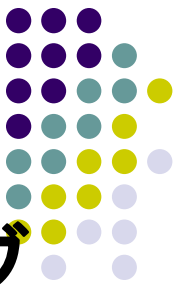
(赤字だけで倒産することはない)

## <原因と背景>

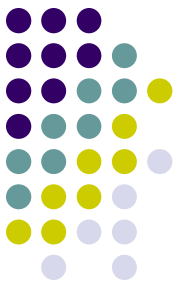
1) 環境変化(投資失敗、技術革新など)

2) 競合会社の出現

3) 社内事情(内紛、跡目相続争いなど)



# 銀行の役割(1)



医者(銀行+ $\alpha$ )と患者(経営悪化企業)の関係

症状: 経営悪化(赤字など) → 診断

早い告知が望ましいが、病院に行かない患者も  
危機認識と迅速な対応が決め手

決算書はどこまで真実か(粉飾決算の実態)

→ 処方箋: 事業再生計画書

赤字部門の閉鎖、事業の選択と集中、  
経営者交代(稲盛和夫、カルロスゴーンなど)  
資本注入(資金調達の安定化)など

# 銀行の役割(2)



## 1, 事業再生支援

再生計画の合理性評価

企業の実態掌握

➡資金提供継続するか止めるかの決断

## 2, 再生方法は大きく2つ

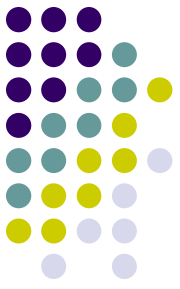
### ① 自律再生

社長の意識改革(銀行指導、コンサル助言など)

### ② M & A(第3の企業との提携含む)

# 4, SDGs対応について

## 全銀協の取り組み2021年



1. SDGs/ESGに関する会員銀行の取組み・・・
2. 2050カーボンニュートラル/ネットゼロへの・・・
3. 地域経済活性化、地方創生への取組み
4. 金融経済活動教育活動の推進による金融リテラシー向上
5. 高齢者など様々な利用者に対する金融アクセス・・・
6. デジタル化の推進と安心・安全かつ利便性・・・
7. 金融犯罪およびマネー・ロンダリング・・・
8. 人権・ダイバーシティを巡る動向を踏まえた・・・

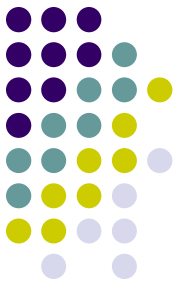


# (1) デジタル化の推進と安全安心 決済ビジネスの高度化



- ① 外国為替(19世紀～)
- ② ATM(1980年代～CDの次)
- ③ クレジットカード(1990年代～)
- ④ デジタル・スマホ時代(2010年代～  
AI活用して個人信用格付け貸し  
➡中国アリペイとウィチャット(Wechat)

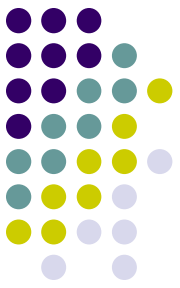
# ATMの普及(セブン銀行の躍進)



- 銀行ATM代行サービス
  - 全国2万5千店でのコンビニで利用可能  
(2019年に3メガ＋りそなのATM台数を超えた)
  - 外国人労働者の送金サービス
    - セブン銀行ATM

# 中国広州～深圳の体験(2019/4)

チケット購入は現金のみ(VIZA、JCBカードは利用不可)



## (2) 金融犯罪の防止/ESGとの関係



### ① 日本振興銀行の犯罪(2010年)

稟議資料の改ざん(財務資料など)

検査忌避(銀行法違反=検査妨害メール削除)

不適正融資(迂回融資 大口融資)

損失隠ぺい(不良債権の偽装 飛ばし)

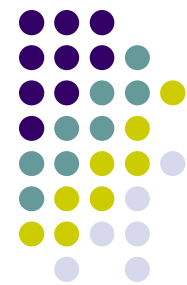
2010/9 **民事再生法**申請

(日本発の銀行の法的倒産)

**ペイオフ**発動(預金が100%保証されなかった)

## ②商工中金の犯罪（2017年）

## ③スルガ銀行の犯罪（2018年）



- 復興支援として東北大震災➡中小零細企業
- 財務資料を改ざんして融資適格に偽装  
最終的に4000件以上発覚  
➡**内部通報制度**の機能不全